

教科	国語		科目	現代文A	単位数	3
学年	3年		類型	流通経済科・情報ビジネス科		
教科書(出版社)	改訂版 高等学校 新編現代文A (第一学習社)					
副教材(出版社)	改訂版 新編現代文A 学習課題集 (第一学習社)					
授業の概要	読むことを中心に教材の理解を深め、基礎的な知識を身に付けるとともに、グループ学習などを通して多様な思考に触れ、主体的な考察を行い、自身の思考を表現したり発表したりする。					
授業の目標	近代以降の様々な文章を読むことによって、我が国の言語文化に対する理解を深め、生涯にわたって読書に親しみ、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。					
年間 学習 計画	学習内容(単元・項目)			学習目標		
	1 学期	1 新しい発見 ・なぜ“コロンブスの卵”を描くのか 2 小説を読む(一) ・調律師のるみ子さん 3 言語と文化 ・犬も歩けば棒に当たる 4 小説を読む(二) ・鼻		・文章の流れをつかみ、基礎的な読解方法を身に付ける。 ・小説読解の基本を確認し、短編小説の世界を鑑賞する。 ・筆者の主張・考えを適切に読み取る。 ・歴史に材を採った小説が現代的な問題を主題化することを理解する。		
	2 学期	1 小説を読む(三) ・出島のチューリップ 2 小説を読む(四) ・山月記 3 人間と文化 ・花女房 4 小説を読む(五) ・デューク 5 小説を読む(六) ・卒業		・随想的な表現の特徴を学ぶとともに、筆者の人生の〈風景〉がどのようなものか想像する。 ・漢文的な表現が醸し出す独特の雰囲気や、その表現のおもしろさを味わう。 ・「人間」とは何かということについて考えを深める。 ・論の展開に即して文章を正確に読解できるようにする。 ・「生死」を扱った文章に触れ、他人の気持ちに寄り添ったり想像したりする。 ・「働くこと」や「他者との関わり」から、自己を見つめ直す契機とする。		
	3 学期	1 人間と社会 ・支え合うことの意味		・「支え合い」がなぜ各人の存在にとって必須の条件となるのか、自らの経験と照らし合わせて考える。		
観点別 評価	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解	
	文章を読む楽しさを味わい、文章に親しむとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。			近代以降の文章を読み、文章に表れた思想や感情を読み取り、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。	
備考	3つの観点に基づき、学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評価を平均し総合的に評価する。					

教科	国 語		科目	現代文 B	単位数	3
学年	3 年		類型	国際経済科・商業科		
教科書（出版社）	新編現代文 B（東京書籍）					
副教材（出版社）	新編現代文 B 学習課題ノート（東京書籍）					
授 業 の 概 要	読むことを中心に教材の読解を深め、総合的な言語能力の育成を旨とする。グループ学習などをおして多様な思考を展開し、主体的な考察を行う。また、自身の思考を表現する機会を設けることで、より確かな学習の経験とする。					
授 業 の 目 標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、もの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。様々なジャンルの文章を的確に理解する能力を養成し、基礎的・基本的な知識・技能を習得し、豊かな感受性を養う。					
年 間 学 習 計 画	学習内容（単元・項目）			学 習 目 標		
	1 学 期	1 評論 一 ・最初のペンギン		・論理展開に注意して読み、扱われている問題を正確に捉える。		
		2 小説 一 ・山月記		・優れた小説が、構成や表現の面でどのように工夫されているか理解する。		
		3 評論 二 ・もう一つの知性		・小説を読むことをとおして、自分とは何か、人間とは何かという問題について考えを深める。		
2 学 期	1 評論 三 ・「環境史」から考える		・筆者の主張を的確に捉え、自然・環境問題に対する理解を深めながら、進んで様々な問題について考え、その内容を文章にまとめる。			
	2 小説 二 ・葉桜と魔笛		・時代背景や虚構性に注意して読み、そこに描かれた世界を的確に捉える。			
3 学 期	1 評論四 ・ホンモノのおカネの作り方		・現代社会と人間のかかわりについて理解を深め、自らの考えをまとめ、的確に表現する力を養う。			
観 点 別 評 価	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解	
	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重して、その向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり、的確に聞き取ったりして、自分の考えをまとめ、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。	
備 考	5つの観点に基づき、学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評価を平均し総合的に評価する。					

教科	国語	科目	古典 B	単位数	3
学年	3年	類型	国際経済科・商業科		
教科書（出版社）	高等学校標準古典 B（第一学習社）				
副教材（出版社）	高等学校 標準古典 B 学習課題集（第一学習社）				
授業の概要	1 講義形式だけでなく、ペアワークやグループワークなども取り入れながら、基礎知識の定着と読解の深化を図る。 2 古文単語や文法などの小テストを適宜行う。				
授業の目標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。				
年間 学習 計画	学習内容（単元・項目）		学習目標		
	1 学期	1 宇治拾遺物語 ・ 亀を買ひて放つ事 2 説苑 ・ 不顧後患 3 大鏡 ・ 弓争ひ ・ 鶯宿梅 4 三国志の世界 ・ 水魚之交	<ul style="list-style-type: none"> 動物の報恩譚に触れることで、古文に親しむ態度を養う。 起承転結のはっきりした短い説話を読んで、大意把握の力を養う。 読みにくい語句に注意して、正確に音読する。 論の展開について理解し、主題を読み取る。 戯曲的な構成を理解し、内容を的確に捉える。 語り手の視点や判断基準について考える。 魏・呉・蜀三国の興亡の概要など歴史的背景について理解する。 基本的な句法について理解する。 		
	2 学期	1 三国志の世界 ・ 死諸葛走生仲達 2 源氏物語 ・ 光る君誕生 ・ 若紫 3 名家の文章 ・ 読孟嘗君伝 ・ 猫相乳	<ul style="list-style-type: none"> 本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改められるようになる。 話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 人間関係を把握し、長編物語特有の話のおもしろさを理解する。 和歌を含む物語を読んで、物語における和歌の役割を考える。 敬語や助詞・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす力を養う。 中国の代表的な文章を読んで、作者の人生観・政治論・教育論を理解する。 		
	3 学期	1 評論 ・ 玉勝間 ・ 兼好法師が詞のあげつらひ	<ul style="list-style-type: none"> 宣長のものの見方を参考にして、これまで学習した古典作品を味わい直す。 		
観点別 評価	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
	古典を読む力を身に付け、作品について自ら考察するとともに、我が国の文化の特質や中国の文化との関係について理解を深めようとしている。			古典を読んで、内容及び思想や感情を、構成や展開に即して捉え、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにしようとしている。	古典の理解に役立てるため、語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記等を理解し、知識を身に付けている。
備考	3つの観点に基づき、学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評価を平均し総合的に評価する。				

教科	地理歴史	科目	日本史A	単位数	2
学年	3年	類型	流通経済科・国際経済科		
教科書(出版社)	改訂版 高等学校日本史A 人・くらし・未来(第一学習社)				
副教材(出版社)					
授業の概要	教科書の内容を精選し、近代日本の確立の過程と軍部ファシズムの確立から敗戦にいたる過程、また人々の生活文化や思想を理解する。その中で、単に歴史用語を暗記するのではなく、歴史的背景、歴史的意義、当時の人々の考え方をつかむ。				
授業の目標	わが国の近現代史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察し、わが国の文化と伝統の特色についての認識を深めることによって、歴史的思考力を養い、国民としての自覚と国際社会で平和を愛する日本人としての資質を養う。				
年間 学習 計画	学習内容(単元・項目)		学習目標		
	1 学期	第1部 私たちの時代と歴史 世界遺産ほか	以下の項目に関して、近世武士社会の衰退・終焉、鎖国制度の崩壊、近代国家の幕開けを理解する。 ・開国と幕末の動乱の推移を理解する。 ・明治維新の意義と帝国憲法の特徴を理解し、東アジア情勢を考察する。 ・日清・日露戦争の経過と意義を理解する。 ・武士社会の経済システムの崩壊から資本主義社会の成立と発展の過程を理解する。		
		第2部 近現代の日本と世界 1 近代国家の形成と国際関係の推移 (1)近代への胎動 (2)開国と幕末の動乱 (3)近代国家の形成 (4)国際関係の推移と近代産業の発展			
		2 両大戦をめぐる国際情勢 (1)第一次世界大戦と日本 (2)第二次世界大戦と日本 3 現代の日本と世界 (1)日本の再出発			
3 学期	(2)独立後の政治と経済大国への道 (3)現代の日本と世界	以下の項目に関して、現代日本の課題を理解する。 ・経済大国から経済的停滞になる過程と日本の国際的役割について理解する。			
観点別 評価	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解	
	日本近代史への関心と課題意識を深め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きるようとする資質を養う。	近現代史の事件・事象から課題を見だし、文化の多様性と現代社会の特質を多面的・多角的に考察するとともに、公正に判断する。	日本近現代史に関する興味と理解を深めるため、身近な生活文化や地域の歴史についての情報を活用する方法を身に付ける。	日本の近現代史についての基本的な事柄を、世界の歴史や生活文化と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	
備考	4つの観点に基づき、学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評価を平均し総合的に評価する。				